

さわらびエコナビ通信

第19号・発行
平成27年3月12日
早良区生活環境課
TEL:833-4341
協力
早良区環境活動
連絡会議

環境活動26年

地域の環境を守る

田隈校区の那須野^{なすの}さんは、長年、環境関係の委員に携われ、リーダーとして環境問題に取り組み活躍されていますので、ご紹介いたします。

【環境活動のきっかけは】

未来の子どもたちにどんな地球を残せるでしょうか。昭和30年代の高度経済成長以降の大量生産・大量消費により、まだ使用可能な物であっても廃棄される。そのようなごみが、地域を流れる金屑川に不法投棄され自然環境が悪化していく。これらを目のあたりにして、地域住民一人ひとりの環境意識を高めれば、地球の環境保全に大きな力になるのではないかと考えて、自ら行動に移し賛同者の理解と協力の下、今日まで活動してきました。

【主な活動内容】

① 廃油で石けん作り

平成4年から自宅に廃油石けん作りの作業場を設置し、食用油の再利用を進めるとともに、出前講座で作り方の普及に努めている。

② 地域の資源物回収

資源の重要性を感じ、福岡市の拠点での資源物回収事業に積極的に協力するため、平成8年に自宅敷地内にリサイクルボックスを設置するとともに、田隈公民館の回収拠点「エコちゃんハウス」についても管理委員会を設立して資源物回収に努めている。



自宅のリサイクルボックス

③ 資源物回収報奨金の活用

田隈小学校の空き地に「ふれあい農園」を開設し、小学2年生・田隈校区町内会の各老人クラブなどが参加して、サツマイモやタマネギを作り、地域のコミュニケーションづくりを図っている。また、田隈校区環境美化活動として、「花いっぱい運動」の資金としても活用している。

【活動の思い】

ボランティア活動が結果として、地域のコミュニティの構築に繋がります。参加者皆さんの活動を拝見することができます。今後とも、将来世代に継承できるように環境活動に取り組んで行きたいと思っています。



田隈小学校2年生芋パーティー



型にクレヨンのチップ入れ

完成

平成26年12月6日(土)、有田公民館で使い残しや不用なろうそくを使った「エコキャンドル作り」が開催されました。

環境講座

エコキャンドル作り
有田校区生活環境委員会

【主な環境関係委員就任状況】

- ・福岡市循環のまち・ふくおか推進会議委員
- ・早良区環境活動連絡会議会長
- ・田隈校区環境活動連絡会議会長
- ・室見川水系一斉清掃実行委員会会長

エココープの環境分野の方々を講師として、子どもたちと保護者、生活環境委員の参加のもと講座が始まりました。

まずは、牛乳パックを利用して、キャンドルの型を作ることから始まりました。型の中をろうそくの芯とブルーやピンクのクレヨンのチップを彩りに入れ、使い残しのろうそくを溶かして流し込み、冷やした後、型を外してキャンドルを取り出します。

完成品は、ろうが固まるまで時間がかかるので、自宅に持ち帰り夕方の楽しみとなりました。

キャンドルの中に、色とりどりのクレヨンのチップが入っているのので、カラフルなものとなり、クリスマスの演出のひとつとなりました。なかには、チップを10個以上入れた子どもさんもいました。

今回は、使い残しや不用となったろうそくをかわいらしいキャンドルとして再利用（リユース）する取り組みになりました。

白石生活環境委員会会長は、「今回の講座は3回目になりますが、例えば、容器のビニールを捨てたらどうなるか、自然の生き物や博多湾を守るにはどんな事に気を付けたら良

いのか等を、講座の中で分かりやすく触れています。廃油での石けん作りも同様ですが、小規模でも年齢層に応じた楽しい講座を地道に継続することで、話が他の人に伝わり、長い目で見れば、環境保護や限りある資源の再利用の啓発に役立つのではないかと考えています。」と話されていました。

環境講座
ミニ門松作り(竹の再利用)
原公民館

平成26年12月26日(金)、里山の自然環境を守るために伐採した竹を再利用して、お正月用の「ミニ門松作り」が開催されました。



飾り付け終盤



完成

講師は、里山の自然環境の啓発や体験学習、竹林整備、里山と都市との交流事業などを実施している「里まちサイクルコミュニティ」の5名の皆さんで、あらかじめ用意された、竹や松、梅、南天などを飾り付け、最後に、水引を竹に巻き付けて完成しました。

水引の結び方や枝ぶりのあしらいに苦戦されていましたが、参加者それぞれに、個性豊かな門松が出来上がりました。

里まちサイクルコミュニティ代表の上野さんは、「昨今、里山の荒廃が叫ばれており、環境保護の観点から、荒れた竹林を整備し里山の自然を取り戻す活動を行う中で、不用となった竹を再利用するため始めたの

が、このミニ門松作りです。最近、日本文化を見直す機会が増えてきていますが、新年を迎える日本人の心を構えを大切にしたい思いを込めて、体験学習に参加していただいています。おかげさまで、日本文化を再確認していただくとてもいい機会になりました。また、竹の持つ美しさ等をあらためて感じていただけた事と思います。竹林の整備等に興味のある方は、ご一緒に活動しませんか！ご参加を待っています。」と話されていました。

お知らせ
空き缶の報奨金が10倍に
(平成26年・27年の2年間限定)

地域集団回収等の市からの報奨金が、平成27年も、空き缶に限って、通常5円/kgが50円/kgに引き上げられています。

空き缶等の資源物は、地域集団回収等に出すようにしましょう。